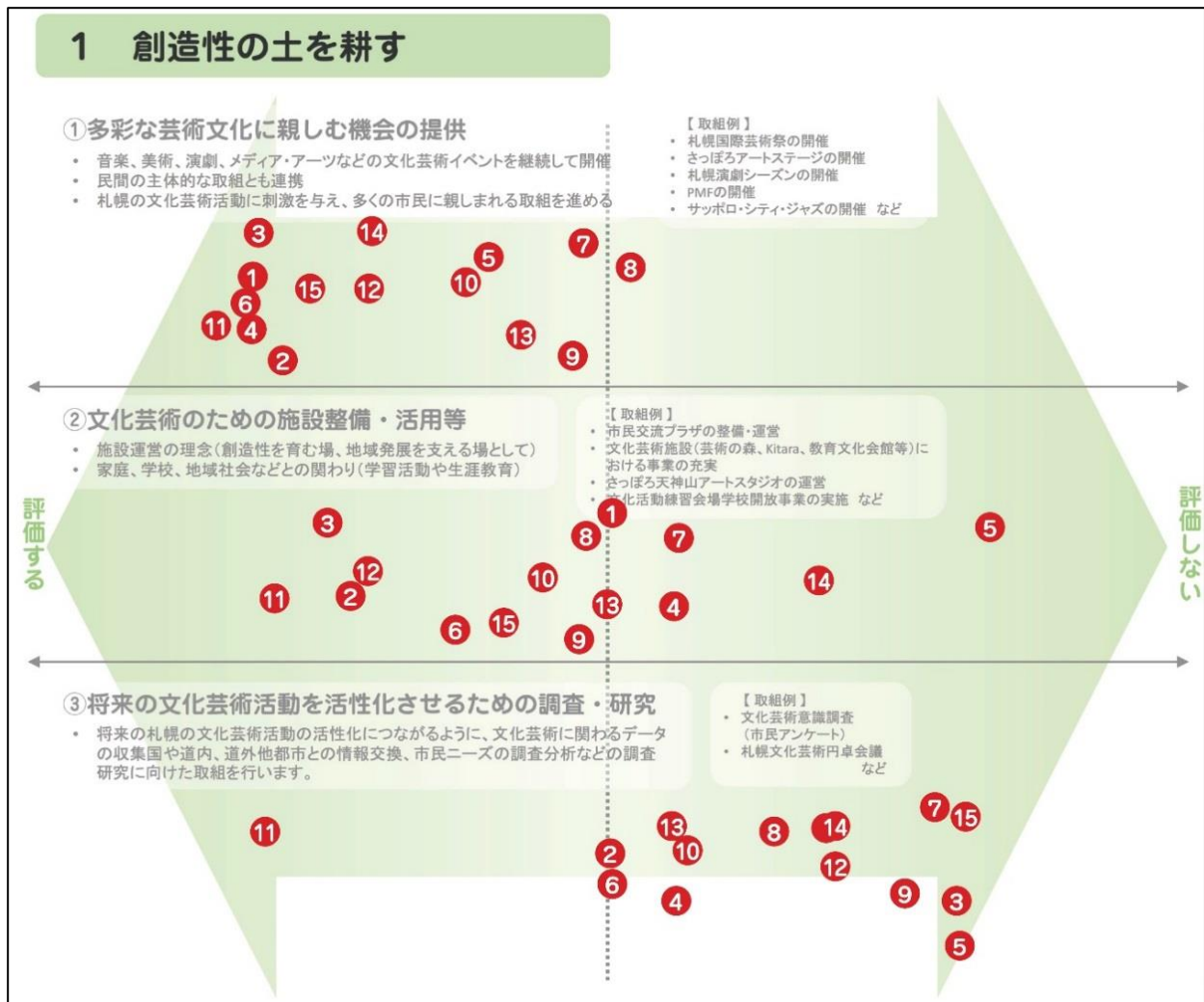


1) 創造性の土を耕す

■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
① 多彩な芸術文化に親しむ機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在実施しているイベントなども市民に定着してきている。</li> <li>市は想いを込めて計画を進めていると感じるが、市民にあまり伝わっていない。</li> <li>演劇は、高校生が抽選で無料で見れるような取組も行って良い。</li> <li>演劇シーズンの時期になると地下鉄駅などでポスターを掲示して広報しているため、良い。</li> <li>PMF、市内の無料コンサート、サッポロ・シティ・ジャズ、琴似での JAZZ など様々な取組が行われている。ただし、PMF は少し高いため回数はあまり多くは行けない。</li> <li>札幌は、地下が発達していて地下空間といった誰も見れる所に 500m美術館、チカホなどのアート展示場がある。広く一般の人たちの目の届く所にアートがあることは、長い目で見るととても意義がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々あるけど突出したものがない。(並)</li> <li>色々やっているけど情報が市民に伝わっていない。</li> <li>写真展や子ども写真教室、民間の取組事例がたくさんあるが、横の連動(情報)が不足している。</li> <li>札幌はフェスティバルシティでいつも何かやっている。しかし、情報発信が不足している。</li> <li>民間の画廊が採算が合わない、建物がないなどの理由で閉店してしまっているのが残念に感じる。</li> </ul>

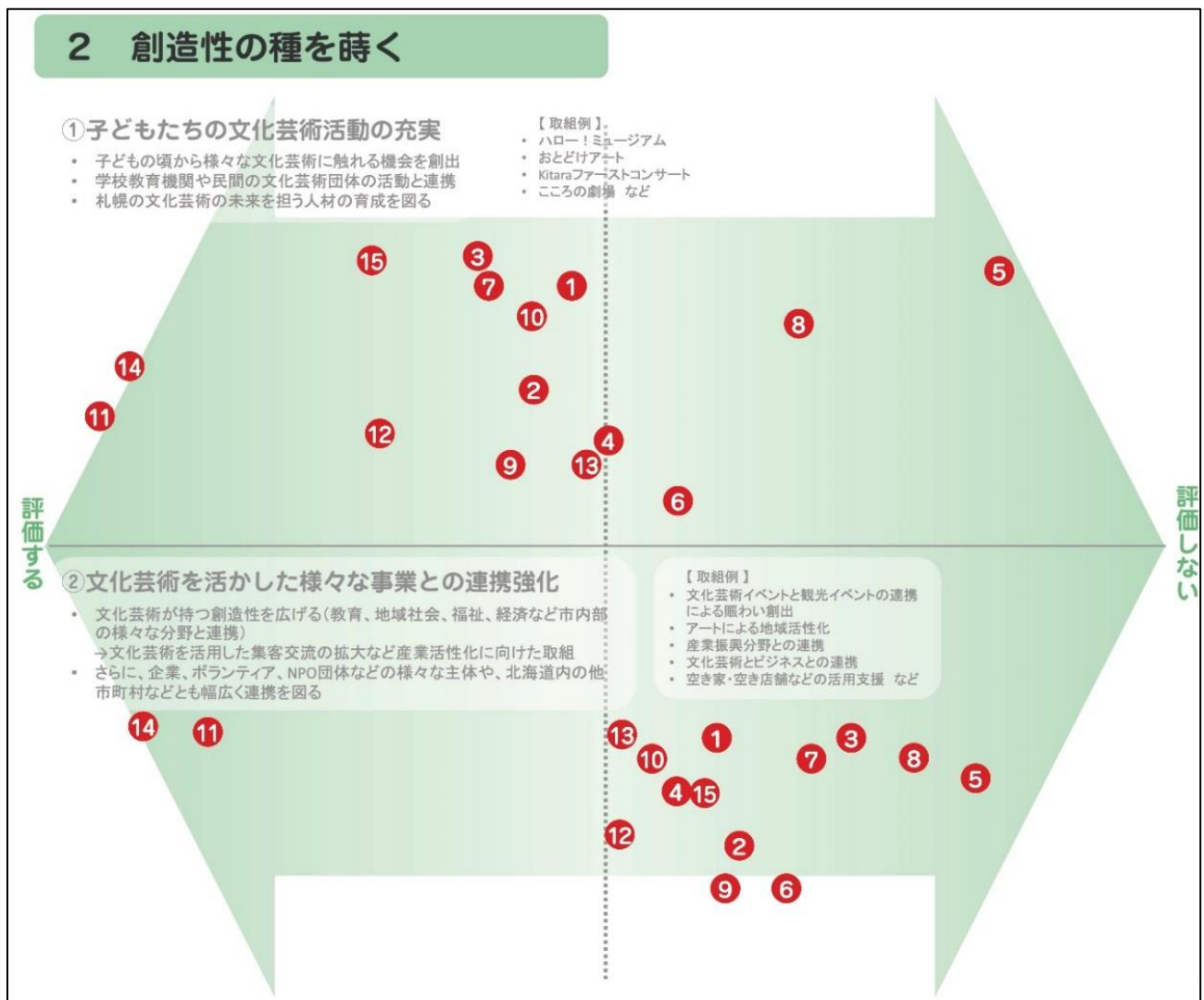
<p>② 文化芸術のための施設整備・活用等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の都市に比べて良い施設も多く、施設として不足はない。</li> <li>・天神山アートスタジオは色々な国からアーティストが来ているため多文化で意見交換できる。近隣の住民との朝食会を行うなど地域とのつながりも生まれている。</li> <li>・コンサートホールや美術館などが多彩なのは札幌市ならではの。</li> <li>・オペラ、天神山アートスタジオなど意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬も楽しめる施設があると良い。</li> <li>・既存の施設の修繕費用が必要な部分もある。</li> <li>・修繕したり、足を運んでもらうための工夫が必要である。</li> <li>・都市部に集まっていて郊外に施設が少ない。</li> <li>・芸術の森美術館は冬は行きづらい。</li> <li>・数はあるが、エデュケーションプログラムが足りない。</li> <li>・複合施設に期待している。総合的なものになってほしい。まとまって都心に出来るのは意味がある（交通アクセスが良いため）。</li> <li>・ホームページを見た時に子どもに伝わりやすい内容にすべき。昔からの課題である。</li> <li>・石狩、空知からの社会見学のグループ行動で文化芸術施設を調べても情報が出てこない。</li> <li>・子どもに届かない内容だと思う。</li> <li>・今回の論点である、26～30年の計画を見直すという点から言うと、過去2年の活動についての評価だと思うが、あまり見えない。</li> </ul>
<p>③ 将来の文化芸術活動を活性化させるための調査・研究</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代芸術を受け入れられるのに時間がかかるため継続して調査し続けると良い。</li> <li>・円卓会議の結果などをどのように反映してどういう取組につながっているかが見えてこない。</li> <li>・アンケートの設問や項目がアーティスト目線で足りない部分があった。</li> <li>・H23のアンケートと比較して今は市民の意識がどう変わっているのかが気になる。</li> <li>・各アンケート結果をどう活かしていくか、見えてきていない。</li> <li>・結果を広く発信するなどアピールすべき。</li> <li>・アンケートをやっていることすら知らない。</li> <li>・ただ意見を聞けば良いわけではない。</li> <li>・データのとり方が難しい。アート、芸術は数字にしにくい。</li> <li>・マスメディアの活用が不足しているのではないかな？</li> <li>・一般の人の目に触れるようにすべき。</li> <li>・調査・研究といってもやっていると見えない。</li> <li>・円卓会議も情報発信をもっと早い段階で行い、もっと色々な人が来れるようオープンにするべき。</li> <li>・何をもって調査研究するのかが分からない。</li> <li>・例題にある2つしかやっていないのかな？</li> </ul>

《その他の意見》

- ・地下鉄のホームの壁を利用してはどうか。
- ・500m美術館を市内の地下鉄49駅に設置すると良い。

## 2) 創造性の種を蒔く

### ■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
① 子どもたちの文化芸術活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども歌舞伎など、あまり知られていないためもっと盛り上げていくと良い。</li> <li>・ 市民のレベルを上げるには同じ分野のものに何度も触れる機会があると良い。</li> <li>・ コンサートなどを観に行くとTVやCDと違う臨場感がある。</li> <li>・ 高校生になると、アート、芸術から離れてしまうため外のプロの表現に触れることが大事。</li> <li>・ 小学校のおとどけアートはすごく良かった！親も学校に行って楽しそうにしていた。</li> <li>・ 小学生以下を対象とした取組が多いので、中高生の体験プログラムなどを増やしてほしい。</li> <li>・ 子どもにとっては得意でなくても窓口の広い体験の場が必要。</li> <li>・ Kitara は行きにくいと思われがちだけどキラファーストコンサートは良い思い出になっており、音楽に触れるきっかけになっている。</li> <li>・ おとどけアートによって、アーティストが身近になっている。</li> <li>・ 小学校5年生を対象に毎年、芸術の森美術館でおとどけアートをやっている。</li> <li>・ 常にアートに携わる自分でさえも例にあがっていることくらいしか知らないの、少ないのかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「何年生対象」などはよくあるが、学年を区切るとは文化に関してはしなくて良い！</li> <li>・ ヨーロッパのように美術館を学校教育で使用するときは無料にしてはどうか。</li> <li>・ 無料は反対！小中学生が騒いで、鑑賞するような雰囲気ではなくなってしまう。</li> <li>・ 作品、アート 札幌にゆかりのある人のものなどが置いてあると良い。</li> <li>・ 道内への修学旅行生を案内するところが少ない。</li> <li>・ 資料館で情報が得られると良い。</li> <li>・ 小学校低学年への教育が大切。</li> <li>・ 本物に触れながらの授業も札幌でできると良い。</li> <li>・ ヨーロッパでは子どもでもマナーができています。</li> <li>・ 価値がなくなってしまうのではないかな？</li> <li>・ 発表の場が限られている。</li> <li>・ テレビ、メディアを使った発信が足りないので一般に伝わらない。</li> <li>・ 絵、彫刻の人材を育てても、自立は（経済的に）厳しい。</li> <li>・ 仕事につながらない。</li> <li>・ 就職場所がない。</li> <li>・ 人材が育成されていない。それに対する市の支援を感じない。</li> <li>・ アートマネジメントを学んでも子どもに文化芸術を伝える職につながるような受け皿がない。</li> <li>・ 体験の場はあるが、入場料を安くするなど、それが継続する支援がない。</li> </ul>

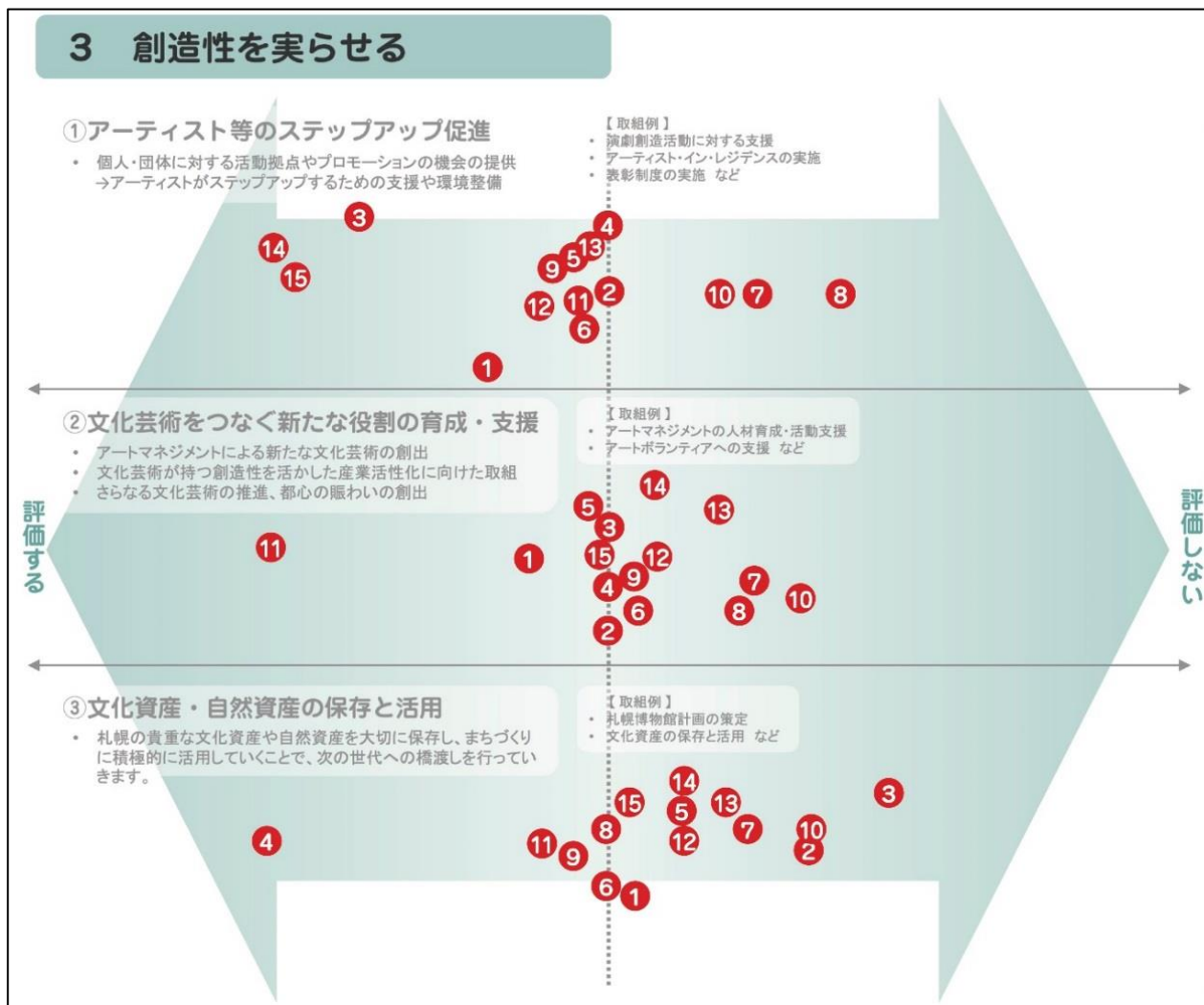
<p>② 文化芸術を活かした様々な事業との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道外の人が芸術鑑賞のついでに観光をしに来る人もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の施設を管理している立場から見ても連携は大切だと思うが、現在は他市町村との連携はできていない。</li> <li>・ 連携は進めているのかもしれないが、一般市民からは見えないところだと思う。</li> <li>・ 連携は様々な土台ができてからの次のステップなので、まだ手がまわっていないと思う。</li> <li>・ 連携のイメージがあいまい。</li> <li>・ 重点的に行うことが何か分からない。</li> <li>・ 取り組もうとはしているが、なかなかつながっていない。</li> <li>・ つなげるメリットが明確ではない。</li> <li>・ 福祉と相性が良いと思うが、つなげる人がいない。</li> <li>・ つなげる人の「職」が確立しない。</li> <li>・ もともとの文化芸術の発信が悪く、一般の人に伝わっていない。</li> <li>・ 空き家、空き地の活用はぜひやるべき。行政主導でやってほしい。アーティストは使える場をさがしている。情報をもらえるだけでも良い。</li> <li>・ 取組例を見ても、どんなことをやっているのかピンとこない。</li> <li>・ アーティストは、天井が高くて汚しても良い空き家などを求めている。</li> <li>・ ある一部のエリアをアーティスト街にしていくなど出来ると良い（NY や北京などでは実施されている。）その場合、どのようなアーティストでも入れるのではなく、ある程度規定があると良いのではないか。</li> </ul>
-------------------------------	--	--

《その他の意見》

- ・ 札幌は、高度成長の時期を終え、国の施策で文化芸術施策をはじめた。
- ・ 札幌は文化芸術の不毛地帯だと感じている。

### 3) 創造性を実らせる

#### ■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
① アーティスト等のステップアップ促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天神山アートスタジオは道外アーティストにも評価されている。</li> <li>・ 市の主導でこのような取組を行っているのは珍しい。</li> <li>・ アーティストインレジデンスの取組として、天神山アートスタジオには海外からも増えてきている。</li> <li>・ 近隣住民との交流もある。</li> <li>・ 広報はあまり行き届いていないと思うが、実際に支援してもらってステップアップできたため、十分取り組んでいると思う。</li> <li>・ 取組はやっている。(大通のアトリウムの下は若いアーティストの表彰発表の場)</li> <li>・ 札幌では、突出した有名な人が生まれない。</li> <li>・ アメリカやニューヨークに行くと箔がついたりするし、東京はすごいけど札幌は大したことない、となってしまう。</li> <li>・ 演劇シーズンを観に行っているが、目に見えて観客が増えてきている。</li> <li>・ 他の場所にもアーティストインレジデンスはあるが、ハードがこんなに素晴らしいものは日本で他にはない。</li> <li>・ 天神山アートスタジオは評価する。世界中からアーティストが来ており、利用者から評価もされている。</li> <li>・ アーティスト同士のネットワークもできている。</li> <li>・ 市民交流プラザはこれから運営するため中間に貼った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャンベを習っているのだが、先生であるジャンベの素晴らしいアーティストがいるのに活動の場が少ないことが残念である。</li> <li>・ アーティストが飯を食っていけない。</li> <li>・ 札幌が、アーティストが食べていけるまちなになると良い。</li> <li>・ ネット社会なので、札幌でも活動できるはず。</li> <li>・ 演劇は、演劇シーズンなどの支援があり良い方だが、まだ持ち出しはあり、それだけでは食べていけない。</li> <li>・ 演劇以外の分野はもっと厳しいと思う。</li> <li>・ 育てるプロセスが不足している。</li> <li>・ ステップアップの技術的支援（他と戦える方法など）が必要。</li> <li>・ アーティストバンクでは、募集の概要が不透明でどのような人を求めているのかわかりづらいため、アーティスト自身も応募しづらいのではないか？</li> <li>・ アーティストの掘り起こしをしていくと良い。</li> </ul>
② 文化芸術をつなぐ新たな役割の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政が直接進めるのは難しいことだと思うが、文化芸術の分野でのボランティア制度などに意欲的に取り組んでいるため評価したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の円卓会議でコーディネーターになるにはどうすれば良いのかという疑問があったが、まだ解決されていない。</li> <li>・ 前回の円卓会議からコーディネーターとボランティアが育っていない。</li> <li>・ アートマネジメント育成に対する支援はほとんど感じない。</li> <li>・ シンポジウムなどがあっても、実践に対する支援がない。</li> <li>・ 実践の場がない。</li> <li>・ アートボランティアをやりたい人、支援してほしい人はいるが、探している人同士をつなぐ場がない。</li> <li>・ アートセンターが出来る前でもアートマネジメントなどの人材育成の取組は何かできるはず。</li> <li>・ 国際芸術祭は1回目から関係している。大学でアートマネジメントを教えているところがあるが、卒業してアートマネジャーになりたいくても仕事がない。</li> <li>・ アートマネジャーが働く環境をまずは整えることが大切。</li> </ul>

<p>③ 文化資産・自然資産の保存と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイヌ文化や縄文文化について道と連携して保存・活用しているところは評価する。</li> <li>・ 豊平館に情報発信機能がつき、良くなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心部以外は資産があまりない。</li> <li>・ 東京の高尾山の博物館は何度も行きたくなるものであったため、そういうものをつくれると良い。</li> <li>・ 道が持っている施設を合わせて活性化していくことができると良い。</li> <li>・ 新しい箱物をつくるより、あるものを活用すべき。(例：HUG)</li> <li>・ 歴史的建造物がどんどんなくなっている。</li> <li>・ 文化施設をきちんと掘り起こして守って、まち全体をミュージアムに！</li> <li>・ 建物に関しては保存の気運を感じるが、アイヌ文化があまり感じられない。</li> <li>・ オープンにはいけないのか？市民の理解が進んでいない。</li> <li>・ 資料館でアイヌ文化に触れられると良い。</li> </ul>
------------------------------	--	--

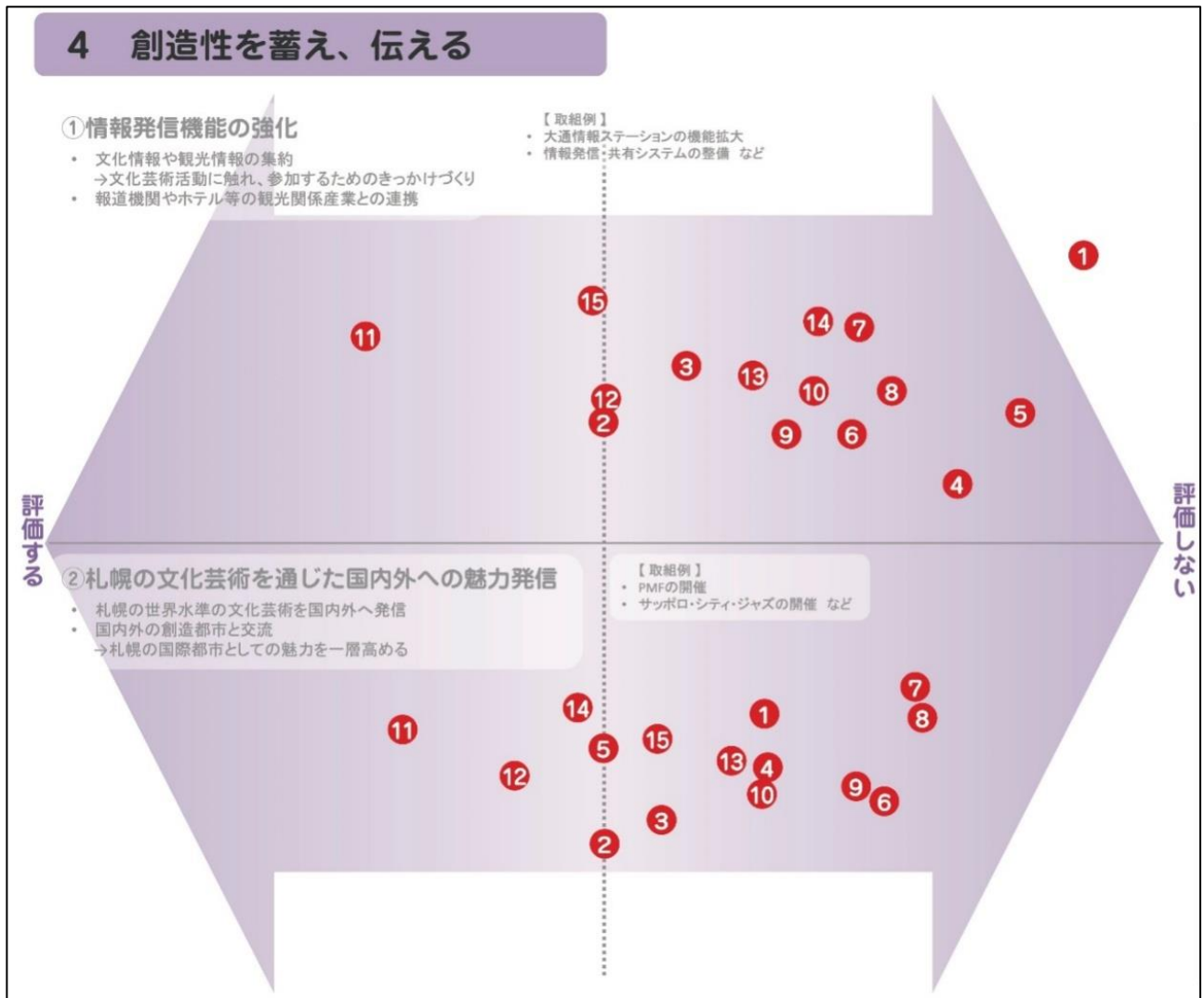
《その他の意見》

- ・ 計画の中に食文化が1つも出ていないが、食育は近年注目され、食文化も大切な観点である。
- ・ 企業とのタイアップをすべき。



#### 4) 創造性を蓄え、伝える

##### ■全体のまとめ



	評価する理由	評価しない理由
① 情報発信機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「アートアラートさっぽろ」の Web は情報が見やすく良いため、もっと活用していくと良い。</li> <li>・ 情報ステーションは良いと思う。</li> <li>・ 各文化芸術施設についてホームページで公開しているが、どのくらい伝わっているか分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校低学年への情報発信が必要。</li> <li>・ ピンポイントで行う方が効果的だと感じる。</li> <li>・ チカホでの PR など一般の人の目に触れるように。</li> <li>・ 活字はダメ！動画やマンガなどを活用して発信していくべき。</li> <li>・ 現在の情報ステーションは見たい人が行く所になっている。興味がない人に呼びかけることが大切！</li> <li>・ 芸術の森美術館の HP が見づらい。英語もないのは残念。</li> <li>・ 情報分類の仕方などが分かりにくい。</li> <li>・ 札幌市の文化芸術関連情報は、アート関係に長けた人がちゃんと情報整理・発信をしているか疑問である。</li> <li>・ さっぽろアートアラートの HP のような一歩突っ込んだ情報発信をしていくべき。そのためには、もっと色々な媒体と連携していくべき。</li> <li>・ 昔はタウンページに文化芸術関係の情報コーナーなどがあつたりして、もっと身近にアートや芸術を知る媒体があつた。</li> <li>・ 大通情報ステーションは充実はしているが、行かないとなかなか分からない。</li> <li>・ 自由に発信できると良い。</li> <li>・ 芸術にお金を落とさない市民が多い印象であるが、情報発信を行うことで、市民の意識が高まるきっかけになるのではないか。</li> <li>・ コンシェルジュがいると良い。</li> <li>・ 市民目線でおすすめのものなどを提案できると良い。SNS など、市民に届くよう、手に取りやすい発信も必要である。</li> <li>・ 情報ステーションは市民に使われていない。資料が置いてあるだけのイメージである。</li> </ul>

<p>② 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演劇、オペラは外国語の字幕などで海外向けに取り組んでいる。</li> <li>・ アーツカウンシル(=司令塔)が必要。</li> <li>・ 文化芸術を通じた魅力発信でなくとも、今の札幌は観光という視点で多くの人々が訪れている。文化芸術を通じて発信する理由とは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PMF は知っている人はまあまあいるが、行ったことのある人は少ないのではないかな？</li> <li>・ 演劇は最近英語でも発信しており、それについては評価する。</li> <li>・ PMF は毎年楽しみにしているが、市民に浸透していない。</li> <li>・ ユネスコに登録しているがその発信をしていない(神戸はやっている)。もっと発信すべき。</li> <li>・ 堂々と発信出来ないのかもしれない(ユネスコ)。</li> <li>・ 札幌でやっているジャズフェスティバルは純粋なジャズではなく、ポピュラー系。</li> <li>・ 純粋系とポピュラー系などネーミングを変えるなどして分ける必要があるのではないかな。</li> <li>・ 本州からもお客を呼べるような催しがあると良い。</li> <li>・ もっとアピールできるものが欲しい！</li> <li>・ 市民交流複合施設が仙台メディアテークのように建物自体で発信力があれば良かった。建物で勝負できないなら中身で勝負をしていくしかない。</li> <li>・ こけら落としが外から持ってきたものでは残念(市民交流複合施設)。</li> <li>・ 小樽はガラス、江別は陶芸のイメージであるが、札幌はどのようなイメージがあるのだろうか。</li> <li>・ 今、世界から見た札幌のイメージは「ビール」や「オリンピック」であるが、今度は「文化芸術」のイメージを持ってもらえるようにしていきたい。</li> <li>・ 言語は世界に合わせていくべき。</li> <li>・ 新しい芽を探してくるべきである。人、場所などを国内外に発信していきたい。</li> <li>・ 未整備の公園などを活用してコンサートなどをできると良い。</li> <li>・ 札幌に縁のある世界水準のアーティストにフィーチャーして個展などやっていくと良い。</li> <li>・ 現代アートを市の施設に展示するのは難しいところである。</li> </ul>
-------------------------------	---	---